



学校

いのちの授業を開始しました

本市では、中学生が、がんについて正しく理解すること、健康と命の大切さについて主体的に考えることを目的とし、大垣市版がん教育「大垣モデル」いのちの授業を、本年度から開始しました。

対象は、保健体育で「健康な生活と疾病の予防」について学ぶ、中学校第2学年の生徒で、授業には医療関係者とがんを経験された方を一人ずつお招きしました。

医療関係者からは、がんの治療方法や早期検診の大切さなどを、お話しいただきました。また、がんを経験された方からは、闘病中の様子を話していただくとともに、当たり前の日常が本当にかけがえのないものであることや、今ある命を大切に生きていくことを、心をこめて語っていただきました。

授業を受けた生徒からは、「がんは身近な病気であり、誰もがなる可能性があることがわかった。」「がんを早期発見できれば、治る確率が90パーセントもあることに驚いた。」「他人事ではないので、家に帰ったら、今日学んだことを家族に伝えたい。」などの感想がありました。

「がん」についてじっくりと考えることを通じ、「いのち」の大切さについて考える良い機会とすることができました。



文化

輪中生活館を見学してみませんか

輪中生活館は、市指定重要有形民俗文化財である旧名和邸を整備したものです。

輪中地域の典型的な地主建築の民家を復元しており、輪中地域の農具やかまど、上げ舟、日常の食事などの展示がされ、輪中の生活の様子が実感できる施設です。

■開館日 土曜日、日曜日、祝日【12月29日から1月3日を除く】
※ただし、開館日以外であっても輪中館開館時間中は見学対応いたします。
ご希望の場合は輪中館にお問い合わせください。(輪中館：0584-89-9292)

■輪中館 開館時間：9時00分から17時00分
休館日：火曜日(その日が祝日にあたる時は、その翌日)
祝日の翌日(その日が日曜日または火曜日にあたる時は、その翌日とし、その日が月曜日または土曜にあたる時は、その翌々日)年末年始(12月29日から1月3日)

■開館時間 9時00分から17時00分 (入館は16時30分まで)
■場 所 大垣市入方2丁目1723番地 ■入館料 無料



大垣市教育委員会

〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29
TEL(0584)47-8022(直通) FAX(0584)82-6385
Email: kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

— 法務省 人権啓発キャッチコピー —
「誰か」のことじゃない。

油断せず 感染対策の継続を!
～手洗い マスク 人との距離～

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

はぐくみ

vol.22

発刊
令和5年
2月

ご挨拶 「一人一人の可能性を拓く」を大切に!

大垣市教育委員会教育長 細江 敦



令和4年第4回市議会においてご同意を得て、大垣市長より教育長に任命されました細江敦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本市では、令和2年度より第二次教育振興基本計画(以降は「計画」と表記)に基づき、教育を推進しているところです。計画では、「みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣 ～次代を拓く人づくり～」を基本理念として掲げています。この理念は、現在の世の中の状況を踏まえるとともに、次代につながるものとして大切にすべきことを的確に示しており、この基本理念を捉えた取組を展開することが私の使命であると捉えています。

教育委員会の役割で最も重要とするのは「人づくり」です。それは計画に示す通り、世代を問わず「次代を拓く(拓こうとする)意志や意欲をもった人」を育むことです。だからこそ、教育委員会の取組は「一人一人の可能性を拓く」ものでなくてはなりません。

例えば、学校教育で「一人一人の可能性を拓く」とは、児童生徒一人一人が自分の可能性に気づき、信じて将来の夢へとつないでいくようにすることです。それは、今後の高度情報化社会、グローバル化に対応できる資質・能力を育成することや、いじめや不登校、その他の生徒指導の課題を考えること、部活動の地域移行の在り方を考えること等のどれについても重要な視点になるものです。

紙面の関係で、学校教育以外の分野については記述できませんが、教育委員会が所掌する内容のどれもが、「一人一人の可能性を拓く」を視点に、物事の本質を見失うことなく取り組むことが求められるものばかりです。

教育を推進するにあたっては、重要な課題が山積しているのが実情です。市民の皆様、学校の先生方や児童生徒たちの声に耳を傾けながら、「一人一人の可能性を拓く」という本質を捉えた取組となるよう一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと考えています。どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

小野小学校、南中学校へ学校訪問を行いました

11月30日(水)に小野小学校、12月21日(水)に南中学校へ、教育委員が訪問しました。

小野小学校では、6年生のタブレットによる英語の授業や、講師と対面で英会話を行う「パフォーマンステスト」の授業などを参観しました。教育委員からは、「タブレットを使い自分のペースで学ぶことができている。」や「小学生で1対1の対面で英会話をするのは貴重である。」などの意見がありました。

南中学校では、フィリピンとオンラインでつないだ2年生の英会話の授業の見学のほか、「部活の地域移行」に関する生徒との懇談会を行いました。生徒からは、「指導者が継続的に来てくれるのか不安。」や、「家庭の事情で参加が難しい人のことや、先生や保護者の負担についても考慮してほしい。」などの意見がありました。

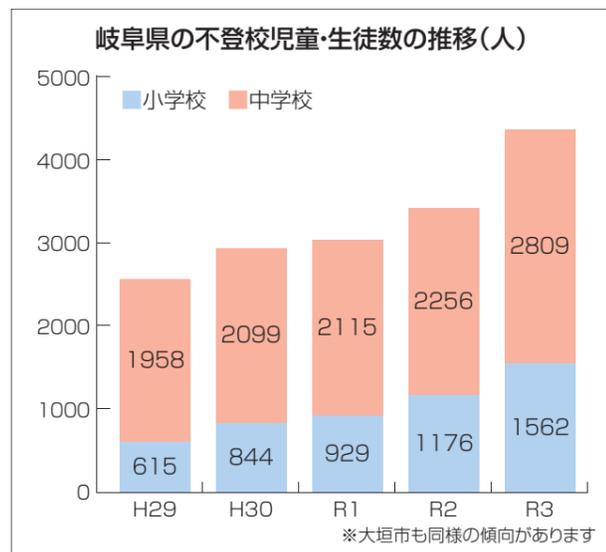
今後も学校訪問を通して教育現場の状況等を把握し、教育行政の充実に努めてまいります。





不登校児童生徒とは

年間30日以上登校しなかった児童生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にある児童生徒をいいます。

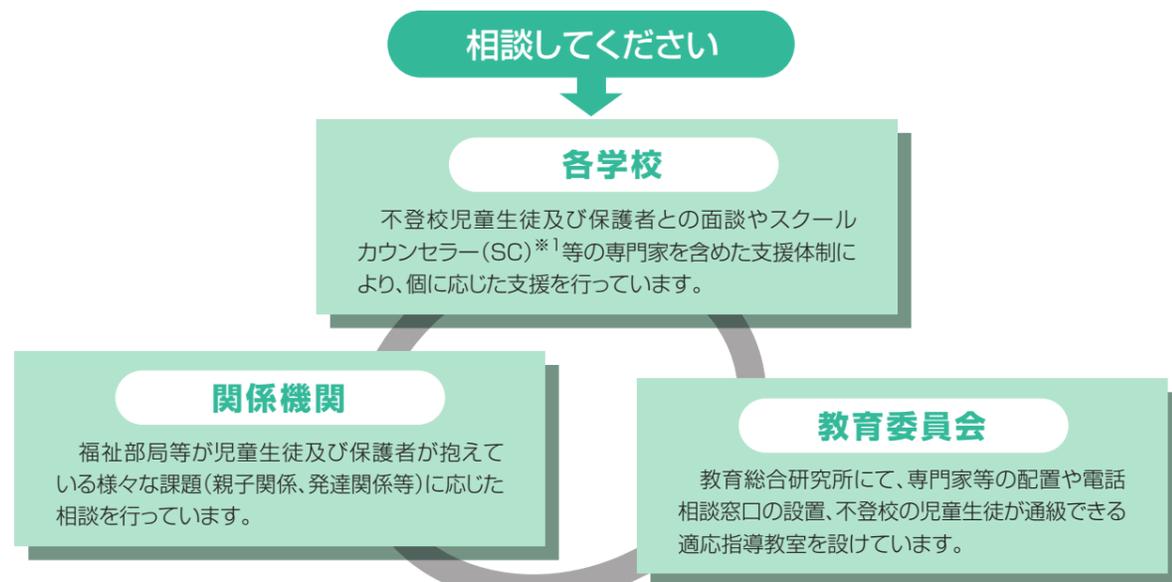


体調がおかしい
友達とケンカした
勉強が分からない
なんか学校に行きたくない

子どもたちの悩みはさまざま。もしかすると、うまく言葉にできないことや、理由が分からないことも。そんな時はお子さんの話をゆっくり聴いてあげてください。困ったときは学校や教育委員会にご相談ください。

不登校支援の考え方

- ◆ 不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得ます。
- ◆ 不登校の要因や背景、不登校である期間やその受け止め方は、個々の状況によって多様です。
- ◆ 「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指す必要があります。



※1 スクールカウンセラー(SC):心理に関する専門的な知識を有する臨床心理士等

各学校による支援

小・中学校では、不登校児童生徒への支援のために、家庭訪問、教育相談、別室登校や放課後登校、スクールカウンセラーとの連携、適応指導教室「ほほえみ教室」の紹介等、個々の不登校児童生徒や学校の状況に応じた取組をしています。

〔具体的な支援の例〕

- ◆ 定期的な電話連絡や家庭訪問による面談
- ◆ 専門家SCによる教育相談
- ◆ 学習プリント等による個別支援学習
- ◆ ICT機器を活用したオンライン学習
- ◆ ほほえみ相談員^{※2}による支援
- ◆ 別室(教育相談室等)への登校

※2 ほほえみ相談員：教室に入ることに不安を抱える子どもたちに対して、学習支援や相談活動を行う、市独自の相談員。家庭訪問や電話連絡を行うこともあります。



教育委員会による支援

家庭等で学習を支援する「ほほえみスタディサポート」や、年齢の近い大学生が話し相手となる「メンタルフレンド」を派遣しています。また、教育相談を行うほか、不登校児童生徒が通級できる適応指導教室「ほほえみ教室」や電話相談窓口を、大垣市教育総合研究所に設けています。

ほほえみスタディサポート(HSS)

学習意欲のある不登校の児童生徒に対して、家庭や学校を訪問し、個別に学習支援を行います。

メンタルフレンド(MF)

大学生が家庭を訪問し、家庭に引きこもりがちな児童生徒の話し相手になったり、遊び相手になったりします。

電話相談窓口

いじめ、友達関係、不登校に関する事など、学校生活全般についての教育相談を電話にてお受けしています。 0584-74-6666

来所相談(スイトピアセンター学習館7F)

専門的な知識及び経験を有する相談員が、子どもの発達や性格行動面について心理相談を行い、面談や心理検査などを通してアドバイスします。

《相談方法》

事前に予約が必要です。 0584-74-6666

適応指導教室「ほほえみ教室」(スイトピアセンター学習館7F)

家庭及び学校と連携し、学習活動(自習が基本)や個人活動、体験活動、本人に対する定期的な相談活動等を行います。

《入級手続》

まずは学校にご相談ください。その後、面談等を通して見学・体験入級へと進みます。

その他にも、こんな支援をしています

- ◆ 生徒指導相談員による登校支援や別室支援
- ◆ スクールソーシャルワーカー(SSW)^{※3}を学校に派遣
- ◆ 不登校等の不安や悩みを医師に相談する専門医相談(年2回)
- ◆ ※3 福祉に関する専門的な知識を有する社会福祉士等。学校からの要請に応じて派遣しています。
- ◆ 不登校児童生徒の保護者が集まるほほえみ保護者会(年3回)

相談窓口の紹介

- ◆ 西濃子ども相談センター ☎0584-78-4838
- ◆ 西濃圏域発達障がい児療育地域支援センター ☎090-9228-7395
- ◆ 市教育委員会 教育総合研究所(教育相談) ☎0584-74-6666
- ◆ 市教育委員会 学校教育課(特別支援) ☎0584-47-8034
- ◆ 市役所 子育て支援課(発達支援) ☎0584-47-7291

